

行政報告の主な内容（8課16項目）

(1)総務課	執行体制について
	人事評価制度について
	国の栄典関係について
	基地対策・自衛隊関係について
(2)企画商工観光課	第6次上富良野町総合計画策定状況について
	上富良野郵便局との包括的連携協定について
	映画製作に係る覚書の締結について
	企業版ふるさと納税の寄附状況について
(3)町民生活課	町税等の収納状況について
(4)保健福祉課	介護保険施設の整備について
(5)農業振興課	農作物の生育状況について
(6)建設水道課	建設産業安全大会について
	道路・治水砂防関係について
(7)町立病院	町立病院の診療体制の変更について
(8)教育振興課	上富良野高等学校の入学状況について
(9)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成30年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の定年退職者など10名の欠員に対して、看護師4名、作業療法士1名、臨床検査技師1名、薬剤師1名、一般事務職8名の採用を行い、社会福祉協議会に1名を派遣したことから、昨年度当初から4名増の187名による執行体制とし、更に再任用職員として2名の採用を行ったところであります。

今後とも、町民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら、業務の円滑な推進と体制の強化を図り、一層信頼される組織となるよう取り組んで参ります。

次に、人事評価制度についてであります。本年度より全職員を対象に制度をスタートし、5月までに各課の組織目標及び全職員の業務目標を設定したところであります。組織力の向上につながるような制度の構築に向けて、円滑な運用に努めてまいります。

次に、国の栄典関係についてであります。永年にわたり地方自治

の伸展に尽力し、上富良野町長、上富良野町議会議員を務められ、2月14日にお亡くなりになられた故尾岸孝雄氏が、同日発令による特旨叙位において、正六位に叙されました。

5月9日にご遺族に対して伝達申し上げたところであり、改めて故人のご功績に心から敬意を表するものであります。

次に、自衛隊関係についてであります。昨年11月上富良野駐屯地内に発足された太鼓同好会の活動を支援するべく、5月18日に富良野地方自衛隊協力会をはじめ各諸団体により、上富良野駐屯地太鼓同好会を応援する会が設立され、今後の活動の一助になることが期待されるところであります。

基地対策関係については、6月11日と15日に上富良野基地対策協議会により「防衛施設周辺整備対策要望」を道内関係機関に要望を行ってまいりました。

記念行事関係では、5月26日の北部方面後方支援隊創隊記念行事、6月3日の上富良野駐屯地創立記念行事、6月17日の第2師団及び旭川駐屯地創立記念行事へ参加したところであります。

(企画商工観光課行政報告【企画政策班関係】)

次に、第6次総合計画の策定状況についてであります。基本構想案につきましては、昨年12月5日に設置しました総合計画審議会において3回の審議を経て、5月16日に答申をいただいたところであり、答申内容を十分に尊重させていただいたうえで、基本構想の最終案をまとめましたので、本定例会に上程をさせていただいたところであります。

次に、上富良野町内の郵便局との包括的連携に関する協定についてありますが、住民サービスの向上、地域の安心・安全の確保と活性化を目的に、高齢者などの見守り、道路損傷やごみの不法投棄に係る情報提供等を主な連携事項として、4月23日に、本協定を締結したところであり、本協定を通じまして、子どもから高齢者まで、だれもが安心して快適に暮らせるまちづくりの一助となるよう努めてまいります。

次に、「泥流地帯」の映画製作に係る制作会社との覚書の締結についてありますが、5月10日に東京に本社を置きます「イメージフィールド株式会社」と、作品の完成及び公開は制作会社の責任においてその実現に努めることや、町は原作の舞台であることを踏まえ、積極的な協力支援に努めることなどを基本とした覚書を締結したところであり、

また、「泥流地帯」映画化を進める会におきましては、映画化セミナーや泥流地帯フットパスの開催など、機運醸成活動も盛んに展開されてきており、多くの町民の皆さまとともに映画化の実現に向け、環境を整えてまいります。

次に、企業版ふるさと納税の寄附状況についてありますが、昨年11月に地域再生計画の認定を受けて以来、本年2月に1件、5月に1件、あわせて二つの事業者から合計で170万円のご寄附をいただいたところであり、

今後さらに、民間企業の皆さまに、本町の地方創生に向けた取り組みを積極的にアピールし、ご理解とご協力をいただく中から、地域再生計画に位置付けられた事業の円滑な推進に努めてまいります。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、町税等の徴収状況についてであります。例年どおり、夜間納税相談窓口の開設や滞納者に対する督促・差押え等を行い、徴収に努めてまいりました。

これらにより、平成29年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で昨年と同じ99.6%、国保税で98.8%と高い水準を確保したところであり、滞納繰越金は、前年対比で、町税33万9千円、国保税160万8千円減少し、町税で399万8千円、国保税で364万4千円となっております。

今後も納期内納税の啓発と収納率の維持に努めてまいります。

(保健福祉課行政報告【高齢者支援班関係】)

次に、介護保険施設の整備についてであります。極東警備保障株式会社が計画をしておりました認知症対応型共同生活介護施設「上富良野グループホームおおぞら」の建設について、3月19日付けで「緑町公営住宅取壊し跡地の有効活用方針」に基づき、当該用地の賃貸借契約を同社と締結し、その後本年10月のオープンに向けて、工事が進められているところであります。

今後、高齢者の福祉の充実に大いに貢献されることを期待しているところであります。

(農業振興課行政報告)

次に、農作物の生育状況についてであります。この冬の大雪の影響を心配しておりましたが、気温の上昇とともに、融雪が例年より進んだことから、耕起作業や、播種作業が順調に推移し、作物の生育に

についても平年並みから平年よりやや早めに推移しているところであり
ます。

今後の生育状況を注視しつつ、農業関係機関相互の連絡をより密に
し、農業者のみなさんとともに豊穰の秋が迎えられるよう努めてまい
ります。

(建設水道課行政報告)

次に、建設産業安全大会についてであります。建設工事の繁忙期
を迎えるにあたって、4月27日に建設業協会と商工会工業部会の共
催により、建設事業従事者約110名が集い開催されました。

大会では、交通事故や労働災害の防止を参加者全員で確認し、無事
故を誓ったところであります。

次に、道路整備及び治水砂防関係についてであります。4月24
日に、北海道道路促進協会、北海道治水砂防海岸事業促進同盟及び北
海道防災協会の通常総会に、また、5月10日・24日には、全国治
水砂防協会の理事会と通常総会にそれぞれ出席し、道路、砂防両事業
の拡充及び促進に向けた活動の推進を確認したところであります。

(町立病院行政報告)

次に、町立病院の診療体制の変更についてであります。泌尿器科
については、平成17年10月より富良野協会病院との病病連携によ
り、隔週水曜日の午後に診療を行っておりましたが、本年4月より協
会病院の医師体制の変更に伴い泌尿器科医師の派遣が困難になったこ
とから、5月9日をもって休診とさせていただきます。

また、夜間診療については、これまで隔週の木曜日に行っておりま

したが、長期投薬による対応が進み受診される方も固定化していることなどから、6月より第2木曜日の月1回の診療とさせていただいたところであります。

(教育振興課行政報告)

次に、上富良野高校の入学状況についてであります。今春の新入学生数は、地元の中学卒業生19名を含む29名となり、全校生徒数は85名となったところであります。

今後においても、地域の皆さまのご理解とご協力をいただき、魅力ある学校づくりへの支援と地元高校の存続に努めてまいります。

(総務課行政報告【財政管理関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてであります。本年度、入札執行した建設工事は、6月14日現在、件数で20件、事業費総額で4億6千529万6千400円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は45件で、その情報については4月1日付けで公表したところであります。

また、今年度入札執行分から、国の「公共工事適正化指針」に沿い、入札における予定価格の事後公表を行うことといたしました。

なお、お手元に「平成30年度建設工事発注状況」を配布いたしましたので、後ほど御高覧いただきたく存じます。